

文献

(1) 一般的・総合的に利用した文献

#	略号	文献名
a	『銅鐸集成』	田中翼『銅鐸関係資料集成』東海大学出版会 1986. 3.
b	『起源論』	井上洋一「銅鐸起源論と小銅鐸」『東京国立博物館紀要 第28号』平成5. 3. (1993年)
c	『青銅研』	三木文雄『日本出土 青銅器の研究—剣・戈・矛・鏡・銅鐸—』第一書房 平成7. 7. (1995年)
d	『富樫徳澤』	富樫雅彦・徳澤啓一「小銅鐸の基礎的研究」『國學院大學考古資料館紀要』11輯 1995年
e	『難波』	難波洋三・京博考古室長作成の「小銅鐸出土地名表」(奥井哲秀「東奈良出土の小銅鐸」2001. 6. 24. 所収)
f	『広がり』	大阪府立弥生文化博物館・三木弘『祭器の広がり』(2002年? 未公表のもの)
g	『千葉紀要17』	『千葉県文化財センター研究紀要』17 1996年
h	『祭祀』	比田井克仁「関東における「小銅鐸」祭祀について」『考雑』86-2 2001. 2.
I	『東縁世界』	白井久美子『古墳から見た列島東縁世界の形成』千葉大学考古学研究叢書 2 2002. 2. 28. p. 53
j1	『発掘83-87』	アサヒグラフ編『新・古代史発掘 1983-87』1988. 4.
j2	『発掘88-90』	アサヒグラフ編『古代史発掘 '88~'90』1991. 7.
j3	『発掘91-95』	『日本の発掘 1991-1995』朝日新聞社 1997. 1. 1.
j4	『発掘96-98』	アサヒグラフ編『古代史発掘 1996~1998』1999. 10.
j5	『列島2003』	『発掘された日本列島2003 新発見考古速報』文化庁篇 2003. 6. 20.
j6	『列島2006』	『発掘された日本列島2006 新発見考古速報』文化庁篇 2006. 6. 30.
j7	『列島2007』	『発掘された日本列島2007 新発見考古速報』文化庁篇 2007. 6. 30.
k1	『アサヒ90後』	『アサヒグラフ』1990. 12. 28. '90後期古代史発掘総まくり
k2	『アサヒ99』	『アサヒグラフ』1999. 12. 24. 1999古代史発掘総まくり
m1	『神戸博』	『銅鐸の世界展』神戸市立博物館 1993年特別展図録
m2	『渡来人』	『渡来人登場』大阪府立弥生文化博物館 平成11年春季特別展図録 1999. 4.
m3	『高倉A』	高倉洋彰「銅鐸への道」『銅鐸と女王国の時代』日本放送出版協会 昭和58年(1983年)
m4	『高倉B』	高倉洋彰「銅鐸の起源と文化」アサヒグラフ別冊『戦後50年古代史発掘総まくり』1996. 4. 1.
m5	『東博目録』	東京国立博物館図版目録 弥生遺物篇(金属器)1981
m6	『松井分類』	松井一明「伊場遺跡出土の小銅鐸にかんするコメント」『浜松市博物館報』第17号 浜松市博物館 2005. 3. 「松井分類」に関する解説と各小銅鐸についての型式分類結果が記されている。
m7	『西日本小銅鐸』	寺前めぐみ「西日本における小銅鐸の様相」『菟原II—森岡秀人さん還暦記念論文集—』菟原刊行会 2012. 5. (この文末の【参考・引用文献】に多数の資料が列挙されている)
m8	『小銅鐸同工品』	白井久美子「小銅鐸同工品の検討」『型式論の実践的研究Ⅲ(2014年度)』千葉大学大学院人文社会科学研究所 研究プロジェクト報告書 第290集 2015年 (「小銅鐸出土地名表」が記載されている)
p		関係先各所への連絡・確認。(具体的内容は省略)
r	『考雑』	考古学雑誌
s	『島根埋文』	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 小銅鐸出土地名表 (http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/baibuninfo.data/seido.pdf)

(2) 個別小銅鐸の文献

#	都府県	遺跡名	#	文 献 名
1	栃木	田間		野口義麿「栃木県小山市田間発見の銅鐸について」『考雑』52-4 1967年
2	群馬	中溝Ⅱ		小宮俊久ほか『新田町文化財調査報告書第11集 新田東部遺跡群』群馬県新田町教委 1993年
3	千葉	天神台		浅利幸一「千葉県市原市天神台遺跡出土の小銅鐸」『考雑』68-3 1983年
4	千葉	川焼台1		相京邦彦「千葉県市原市川焼台遺跡出土の小型銅鐸」『考雑』75-2 1989年
5	千葉	川焼台2		相京邦彦「千葉県市原市川焼台遺跡出土の小型銅鐸」『考雑』75-2 1989年
6	千葉	文脇		古内茂・西口徹「千葉県袖ヶ浦町文脇遺跡出土の小銅鐸」『考雑』75-2 1989年
7	千葉	草刈Ⅱ区		白井久美子・福田依子「千葉県市原市草刈遺跡出土の小銅鐸」『考雑』75-2 1989年
8	千葉	草刈Ⅰ区	1	豊田秀治「市原市草刈遺跡Ⅰ区」千葉県文化センター年報No. 16. 平成2年度, 1991年
8	千葉	草刈Ⅰ区	2	相京邦彦・立和名明美「銅鐸の出土状況—千葉県の出土例—」『日本考古学協会1994年度大会研究発表要旨』日本考古学協会 1994年
9	千葉	大井戸八木	1	桐村修司「大井戸八木遺跡」『君津郡文化財センター年報』9 平成2年度
9	千葉	大井戸八木	2	「県内出土青銅製品の集成」『千葉県文化財センター 研究紀要』17 1996年9月
9	千葉	大井戸八木	3	比田井克仁「関東における「小銅鐸」祭祀について」『考雑』86-2 2001年
10	千葉	中越		麻生正信・土屋治雄・加藤正信「木更津市中越遺跡出土の小銅鐸について」『研究連絡誌』第42号 千葉県文化財センター 1994年
11	千葉	水神下	1	『千葉県袖ヶ浦市水神下遺跡発掘調査報告書』袖ヶ浦市袖ヶ浦駅海側土地区画整理組合・袖ヶ浦市教育委員会 2015年 https://www.city.sodegaura.lg.jp/site/kyouiku/hakkututuyousahoukokusyo.html
12	東京	高田馬場3丁目	1	滝口宏・富樫雅彦「13. 新宿区高田馬場三丁目遺跡」『東京都遺跡調査・研究会発表会17 発表要旨』武蔵野文化協会ほか 1992年
12	東京	高田馬場3丁目	2	『高田馬場三丁目遺跡』新宿区遺跡調査会 1994年
13	東京	中郷		『中郷遺跡』八王子市中郷遺跡発掘調査団 1998年
14	神奈川	(海老名)本郷	1	伊東秀吉「銅鐸の発見された海老名本郷遺跡」『月刊文化財 94号』 1971年
14	神奈川	(海老名)本郷	2	『海老名市本郷遺跡(Ⅰ)』本郷遺跡調査団他 1985年
15	神奈川	内沢		大川清他「No. 7 平塚市広川・公所遺跡群」『神奈川県遺跡調査・研究発表会』神奈川県考古学会 1999年
16	神奈川	河原口坊中	1	「河原口坊中遺跡」『発掘調査成果発表会・公開セミナー発表要旨』2007財団法人かながわ考古学財団
16	神奈川	河原口坊中	2	「かながわ考古学財団」HP (http://www.kaf.or.jp/download/kawaraguci2008-3.pdf)
17	石川	藤江B		『金沢市藤江B遺跡Ⅳ』石川県教委・石川県埋蔵文化財センター 2002. 3. 29.
18	福井	瓜生助	1	「瓜生助遺跡出土小銅鐸」武生市教委文化課 2002. 10. 23. 記者発表用資料
18	福井	瓜生助	2	埋文たけふダイジェストNo. 7 武生市史編さんだより第35号
18	福井	瓜生助	3	齋藤秀一「瓜生助遺跡」『第18回福井県発掘調査報告会資料』福井県埋蔵文化財センター 2003年
18	福井	瓜生助	4	齋藤秀一「福井県越前市(旧武生市)瓜生助出土の小銅鐸について」『岡山理科大学埋蔵文化財研究論集』2008年
19	静岡	船津陣ヶ沢		後藤守一「駿河浮島村出土の小銅鐸」『考雑』23-4 1933年
20	静岡	関峯		後藤守一「駿河浮島村出土の小銅鐸」『考雑』23-4 1933年
21	静岡	有東(有東第一)		杉原荘介「静岡市有東第一遺跡」『日本考古学年報』1 1951年
22	静岡	伊場	1	「伊場遺跡出土の小銅鐸」『浜松市博物館情報』第151号 浜松市博物館 2004. 10. 15.
22	静岡	伊場	2	松井一明「伊場遺跡出土小銅鐸にかんするコメント」『浜松市博物館報』第17号 2005. 3.

22	静岡	伊場	3 『浜松市の銅鐸』 浜松市博物館 2007年
22	静岡	伊場	4 http://nw01.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/07chosa/sho_dotak.html
23	静岡	愛野向山Ⅱ	松井一明「静岡県袋井市愛野向山Ⅱ遺跡出土の小銅鐸」『考雑』75-2 1989年
24	静岡	青木原Ⅱ	『青木原遺跡Ⅱ 平成21・22年度一級河川御殿川河川改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第244集 2011年
25	愛知	余野神明下	1 宮川芳雄『大口町史』（小銅鐸）1982年
25	愛知	余野神明下	2 『仁所野遺跡』大口町史編集委員会 1993年
26	三重	草山	榎本義謙「草山遺跡出土の小銅鐸」『考雑』73-4 1988年
27	三重	白浜	1 田辺昭三『白浜貝塚発掘調査終了報告』本浦遺跡群調査委員会白浜貝塚発掘調査班 1987年
27	三重	白浜	2 『白浜遺跡発掘調査報告』本浦遺跡群調査委員会 1990年
28	滋賀	志那	1 梅原末治「近江発見の小銅鐸」『人類学雑誌』50-10 1935年
28	滋賀	志那	2 滋賀県HP：滋賀県教委・文化財目録・有形文化財（美術工芸品）・草津市 (http://www.pref.shiga.jp/edu/katei/bunkazai/bunkazaimokuroku/yukeibikou/bikoh_kusatsu.pdf)
29	滋賀	松原内湖	1 朝日・京都新聞1985年11月8日。
29	滋賀	松原内湖	2 浜崎悟司「2.松原内湖遺跡」『弥生時代の青銅器とその共伴関係』埋蔵文化財研究会 1986年
29	滋賀	松原内湖	3 浜崎悟司「松原内湖遺跡出土の銅鐸型銅製品」『滋賀考古学論叢』第4集 滋賀考古学論叢刊行会 1988年
30	滋賀	下鈎	1 辻川哲朗「日本最小の「小銅鐸」出土 栗東町下鈎 下鈎遺跡」『滋賀文化財だより』NO.256 1999.7.15.
30	滋賀	下鈎	2 辻川哲朗「下鈎遺跡における「導水施設」状遺構について」『紀要』第14号（財）滋賀県文化財保護協会 2001.3.
30	滋賀	下鈎	3 『小さな遺物見つけた！』（図録）安土城考古博物館 2003年
31	大阪	寛弘寺	1 『河南西部地区農地開発に伴う寛弘寺遺跡発掘調査概要・V』大阪府教委 1987年
31	大阪	寛弘寺	2 奥和之「寛弘寺遺跡出土の小銅鐸」『考雑』73-4 1988年
32	大阪	(柏原)本郷	『本郷遺跡—柏原市文化財概報1992-Ⅲ』柏原市教委 1993年
33	大阪	上フジ	都市計画道路泉州山手線建設に伴う発掘調査報告書『上フジ遺跡Ⅲ・三田古墳』（財）大阪府埋蔵文化財協会調査報告書第80輯 1993年
34	大阪	東奈良	1 茨木市立文化財資料館資料『東奈良出土の小銅鐸』（日付はないが、1999年作成）
34	大阪	東奈良	2 『東奈良—東奈良土地区画整理事業に伴う発掘調査概要報告』茨木市教委 2003年
34	大阪	東奈良	3 森田克行「最古の銅鐸をめぐる—東奈良同TK合うの型式学的研究—」『究班Ⅱ 埋蔵文化財研究会25周年記念論文集』25周年記念論文集編集委員会 2002
34	大阪	東奈良	4 設楽博己「銅鐸文様の起源」『東京大学考古学研究室研究紀要』第28号 2014年
35	兵庫	高篠谷ノ郷	1 種定淳介『高篠小銅鐸の意義について』兵庫県教委埋蔵文化財調査事務所
35	兵庫	高篠谷ノ郷	2 種定淳介「近時発見の銅鐸とその関連資料」『野々間遺跡』兵庫県水上郡春日町 1990年
35	兵庫	高篠谷ノ郷	3 『三木市埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ』三木市教委 2000年
36	兵庫	月若	1 芦屋市教委・森岡秀人氏のご教示による。
36	兵庫	月若	2 『広報 あしや』No.1001 2008年12月1日号 (http://www.city.ashiya.hyogo.jp/koho/image/08120145.pdf)
36	兵庫	月若	3 『兵庫県芦屋市 月若遺跡発掘調査報告書 第96地点 —都市計画道路山手幹線街路事業に伴う発掘調査Ⅷ—』芦屋市文化財調査報告第76集 2009年
36	兵庫	月若	4 寺前めぐみ「西日本における小銅鐸の様相」『菟原Ⅱ—森岡秀人さん還暦記念論文集—』菟原刊行会 2012.5.
37	鳥取	東郷北福	名越勉・甲斐忠彦「鳥取県東郷町出土の小銅鐸」『考雑』59-2 1973年
38	鳥取	長瀬高浜	長瀬高浜遺跡調査事務所「鳥取県東伯郡羽合町・長瀬高浜遺跡出土の小銅鐸」『考雑』68-1 1982年（文責：清水真一）
39	岡山	下市瀬	1 新東晃一「岡山県下市瀬遺跡出土の小型銅鐸について」『考雑』59-2 1973年
39	岡山	下市瀬	2 「下市瀬遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査1』岡山県教委 1973年
40	岡山	足守川矢部南向	江見正巳「岡山県倉敷市足守川矢部南向遺跡出土の小銅鐸について」『考雑』73-4 1988年
41	岡山	横寺	「新本新庄地区ほ場整備事業に伴う発掘調査1」『総社市埋蔵文化財調査年報 4』総社市教委 1994年
42	徳島	伝江原	1 森敬介「銅鐸の用途について」『歴史と地理』31-6 1933年

42	徳島	伝江原	2	三木文雄「小銅鐸の系譜」『MUSEUM』東京国立博物館 1966年
43	香川	弘田川西岸	1	北山健一郎「弘田川西岸遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報 平成4年度』香川県教委1993年
43	香川	弘田川西岸	2	北山健一郎「小銅鐸について」『立命館大学考古学論集Ⅰ』立命館大学1997年
43	香川	弘田川西岸	3	片桐孝浩「広域基幹河川弘田川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 弘田川西岸遺跡」香川県教委2008年
44	福岡	大南		鈴木基親・渡辺正気「福岡県筑紫郡春日町出土の銅鐸」『九州考古学』10 1960年
45	福岡	浦志		常松幹雄「福岡県前原町浦志遺跡A地点」前原町文化財調査報告書第15集 1984年
46	福岡	今宿五郎江(1号鐸)	1	二宮忠司「福岡市西区今宿五郎江遺跡出土の銅鐸型銅製品」『考雑』75-2 1989年
46	福岡	今宿五郎江(1号鐸)	2	『福岡市 今宿五郎江遺跡Ⅱ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第238集 1991年
47	福岡	今宿五郎江(2号鐸)		『今宿五郎江 16』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1221集 2014年
48	福岡	原田		福島日出海「福岡県嘉穂郡嘉穂町原田遺跡出土の小銅鐸について」『考雑』73-4 1988年
49	福岡	板付	1	TOPICS「板付遺跡も二重環濠」MUSEUM KYUSHU 第31号 1989年
49	福岡	板付	2	『環境整備遺構確認調査 板付遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書 第410集 福岡市教委 1995年
50	福岡	井尻B		『井尻B遺跡14—井尻B遺跡 第17次(B区)の調査—』福岡市埋蔵文化財調査報告書 第834集 福岡市教委 2005年
51	福岡	元岡・桑原遺跡群1		2005.6.1.記者発表資料(ttp://www.city.fukuoka.lg.jp/download/159105380372.pdf)
52	福岡	元岡・桑原遺跡群2		2005.6.1.記者発表資料(ttp://www.city.fukuoka.lg.jp/download/159105380372.pdf)
53	福岡	立明寺地区	1	立明寺地区遺跡B地点記者発表資料
53	福岡	立明寺地区	2	2007.8.29.西日本新聞
53	福岡	立明寺地区	3	『立明寺地区遺跡B地点(仮称)イオン筑紫野SC開発事業に伴う発掘調査報告書』株式会社島田組 2009年
54	福岡	比恵遺跡群	1	『比恵遺跡群第125次調査現地説明会資料』福岡市経済観光文化局埋蔵文化財調査課 2012.04.21. (http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/files/ExcavationNewsParagraph16fileja.pdf)
54	福岡	比恵遺跡群	2	『比恵 66』福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1237集 2014年
55	福岡	高三瀨(たかみずま)		『発掘された日本列島 2015』文化庁 2015年 p.18
56	佐賀	本行	1	『本行遺跡』鳥栖市文化財調査報告書第51集 鳥栖市教委 1997
56	佐賀	本行	2	三木文雄「住居跡から朝鮮式銅鐸・本行遺跡(佐賀)」東アジアの古代文化第77号 1993年
57	熊本	上日置女夫木		八代市文化財調査報告書第26集『上日置女夫木遺跡』八代市教委 2005年
58	大分	別府	1	小倉正五「朝鮮式小銅鐸の発見」考古学ジャーナル第134号 1977年
58	大分	別府	2	『別府遺跡緊急調査概報』大分市教委 1977年
59	大分	多武尾		大分市教委『大分市多武尾遺跡調査概報』(小銅鐸を伴う遺構)1982年
71	愛知	朝日		吉田広「朝日遺跡の青銅器生産」『朝日遺跡VI』2000年
81	群馬	?		
82	神奈川	つきみ野西		
83	静岡	原町		
84	奈良	唐古・鍵		田原本町教委・檀考研(久野邦雄・寺澤薫)『唐古鍵遺跡発掘調査概報』1977年
85	長崎	三根		
86	長崎	卯麦		鏡山猛ほか「対馬—浅茅湾とその周辺の考古学調査」1974年
87	熊本	八ノ坪	1	2004.4.27.熊本日々新聞
87	熊本	八ノ坪	2	『八ノ坪遺跡Ⅰ』熊本市教委 2006年